

# コンセッションと空港プロジェクト 海外事例と 国内導入における課題とリスク分担

【講師】

ベーカー&マッケンジー法律事務所(外国法共同事業) パートナー 弁護士 江口 直明

(敬称略)

## 【講義概要】

日本国内の28の国管理空港と67の地方管理空港の空港コンセッションの先陣を切って、仙台空港及び関西国際空港の運営権者が選定された。高松空港は募集要項が発表され、福岡空港は投資意向調査が始まった。北海道の空港も事前調査が進んでいる。本セミナーでは、空港コンセッションに関する法律、基本方針、ガイドライン及び報告書を説明し、海外のコンセッション事例を概観した後に、日本国内で空港に関してコンセッションを導入する際の課題、リスク分担について検討する。公表されている「仙台空港特定運営事業等公共施設等運営権実施契約書」及び「関西国際空港及び大阪国際空港特定空港運営事業等公共施設等運営権実施契約の概要」を参照しながら、具体的な条文に従ってリスク分担を検討する。

## 【重点講義項目】

1. 改正PFI法(コンセッションの導入)、基本方針、ガイドライン、PPP/PFI推進アクションプランの解説
2. 関西国際空港及び大阪国際空港の一体的かつ効率的な設置及び管理に関する法律
3. 「空港経営改革の実現に向けて」と題する報告書
4. 「民間の能力を活用した国管理空港等の運営等に関する法律」と基本方針
5. 海外の空港コンセッションの事例
6. 空港に関してコンセッションを導入する際の課題
  - (1) 利用料金の定め方
  - (2) 既存施設の瑕疵
  - (3) 既存管理者との引継及び事業終了時の引継
  - (4) 維持管理と損害賠償の限定
  - (5) 契約解除と損失補償
  - (6) 不可抗力
  - (7) 法令変更
  - (8) 競合施設
7. 公表されている仙台空港実施契約(案)、関西空港の実施契約(概要)の解説

\*当セミナーの録音、転送、撮影等はお断りしております。また、法律事務所ご所属の方は、お申込みご遠慮願います。

## 講師略歴

一橋大学法学部卒業(1986年)、弁護士資格取得(1988年)東京弁護士会所属、ロンドン大学法学修士(1992年)ベーカー&マッケンジー法律事務所ロンドン勤務(1993年)。ベーカー&マッケンジー法律事務所の銀行・金融部門リーダー、金融法務、プロジェクトファイナンス、PFI/PPP、再生可能エネルギーファイナンスを専門とする。国内PFI取扱案件200件以上、仙台空港、関西空港(入札支援)、羽田空港エプロン、貨物ターミナル、那覇空港管制塔、航空保安大学校、愛知道路コンセッション、衆参議員会館、福岡クリーンエナジー、駒込、松沢、愛媛、筑波大学等病院PFI、美祿刑務所エジプト大使館、知多浄水場、横浜市消化ガス発電等横浜市北部下水処理場、民間包括委託契約に関与、国際協力機構(JICA)協力準備調査(PPPインフラ事業)で海外の上水道、下水道、ごみ処理施設、近郊鉄道、地下鉄の法制を調査、内閣府PFI推進委員会専門委員(2010年~)国土交通省空港運営のあり方に関する検討会委員(2011年)我が国建設企業の海外PPP事業への参画のための戦略検討会議委員(2012年)。

【主な論文】「コンセッションの導入を目指した改正PFI法・PFIガイドラインの改定の概要と空港へのコンセッションの導入」事業再生と債権管理2013年10月5日、「PFI法改正とコンセッションの活用法」事業再生と債権管理 2011年10月5日号、「PFIへの取組みのススメ(上)(下)」銀行法務21 2002年4月号12頁、5月号48頁 日本におけるプロジェクト・ファイナンスの立法課題(ジュリスト1238号)、「被災地における太陽光発電PPPプロジェクト」銀行法務21 2012年7月号、ほか多数。

【ベーカー&マッケンジー法律事務所(外国法共同事業)】日本人弁護士107人、外国法事務弁護士及び外国で資格を有する弁護士34名、その他税理士、弁理士等、専門家総計170人の国際法律事務所。

